

Monthly Letter



地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(平成27年度～平成31年度)
『地域創生の担い手を育み活気あるふくいを創造する5大学連携事業』
福井大学・福井県立大学・福井工業大学・仁愛大学・敦賀市立看護大学

文部科学省
地(知)の拠点

平成30年度 事業報告書完成 「サミット」「特色人材」「新採用学」

ふくいCOC+事業では、地域創生・活性化に向けて、学生が地域で就職・活動することの一助になることを目指して、県内5大学が、県、商工会議所、看護協会等と協働して色々な取組みを行っています。今回その中で、3つの取組みに関する報告書を同時に発行しましたので、お知らせします。

(1) はばたけ地域創生士！サミット 実施報告書

本事業では、地域志向科目を学ぶこと、Fスクエアで参加5大学が共同授業を行うこと(平成30年の履修者数は約1700名、うち単位互換約500名)、ふくい地域創生士を認定すること(平成30年度78名が申請)などがメインの事業です。

これをベースとして、11月13、14日「ふくい地域創生士」と同じような資格を認定している全国の大学がアオッサに集まり、シンポジウム・ワークショップなどを通して交流を深め、この事業がより深化することを目指して「サミット」を開催しました(全国30大学、50団体200名の参加)。その内容についての報告書です。

特に、ワークショップの参加者61名の一人ひとりの「地域創生を志す私たちの「ことば」」を写真付きで載せてあることが特徴です。



はばたけ地域創生士！サミット
実施報告書

(2) 特色人材育成部会 事業成果報告会 平成30年度実施報告書

特色人材育成部会の6WGが、それぞれの大学でテーマを決めて学生と教員が研究を行い、各大学が協働しながら同じテーマで活動しており、これも本事業のメインの一つであります。

この事業成果報告会を、昨年に引き続き12月15日、アオッサで実施し、その内容を平成30年度の報告書として発行しました。17プロジェクト29名の発表がありました。それらの要旨、発表者の写真も掲載し、堅苦しくなく、学生の皆さんが色々な事にチャレンジしていることがわかりますので、これからの皆さんの活動にとって参考にもなると思います。



特色人材育成部会 事業成果報告会
平成30年度 実施報告書

(3) 福井型「新採用学」研究会 REPORT 2018

この研究会は、学生が地域の企業に就職してもらうためには、企業も勉強をすべきだという視点から始められました。COC+事業を理解していただきながら、学生にどういう形で、企業の魅力を発信するかということ企業自身が考えるということです。研究している一つの例を挙げますと、採用だけでなく、入社後も含めた取組みが必要であること、安定志向とは「今というよりも、未来に成長が見えること」であるなどの議論がされています。学生の目線でアカデミックな議論になっていまして、学生の皆さんには、「これからを考える」うえで役立つと思っています。



福井型「新採用学」研究会
REPORT 2018

以上、今回発行しました3つの報告書を紹介しましたが、これらの報告書は、福井大学COC推進室にありますので、興味ある方は、是非ご連絡ください。また、HP「ふくいCOC+」で検索していただくと、「ふくいCOC+各種レポート」で掲載しましたので、是非覗いてみてください。きっとこれからの「生き方」や、「就活」に役立つと思っています。



2月14日福井大学文京キャンパスでCOC+事業推進協議会及びCOC+事業評価委員会を開催しました。両会議とも福井大学の眞弓学長が議長を務めました。

同協議会には、福井県から西川知事、福井県商工会議所連合会から川田会頭、福井県経営者協会から前田会長、福井県医師会から大中山会長、福井県看護協会から樋村会長及びCOC+事業に参加する5大学学長等が出席しました。会議では平成30年度の事業実施状況の報告の後、平成31年度の事業計画・予算配分方針について話し合わせ、COC+の最終年度となる事業計画などが承認されました。

同日、開催されたCOC+事業評価委員会では、福井大学の岩井理事が平成30年2月23日に公表された文部科学省によるCOC+事業の中間評価結果、平成30



COC+事業推進協議会の様子



COC+事業評価委員会の様子

年12月17日に実施された日本学術振興会によるフォローアップ現地調査について報告しました。さらに、平成30年度の事業実施状況の報告等があり、本事業の自己点検・評価を併せて行いました。また、平成29年度9月に実施した外部評価者による事業評価を行うかどうか話し合わせ、平成31年度中に実施することを決定しました。また、2月21日に開催した教育プログラム開発委員会では、平成30年度「ふくい地域創生士」認定者と「ふくい地域創生アワード」授与者を決定しました。資格認定者等に対する授与式を、2月27日にFスクエアで開催します。詳細については、次号でお知らせ予定です。

福井型「新採用学」研究会 ～就活について考える～

福井型「新採用学」研究会の第5回研究会と報告会が、2月2日福井大学文京キャンパスアカデミーホールで開かれました。福井で活躍する企業から人事採用担当者や、経営者など約70名が参加しました。

この研究会は、福井で学ぶ学生の皆さんが、福井での活躍(就職)を促進するために平成29年度から開催されています。これまでの2年間は、企業の皆さんを対象にして、採用の研究を中心に行ってきました。神戸大学大学院服部泰宏准教授ほか、専門家の皆様を講師にお招きして、企業と学生をもっと結びつけるにはどうしたら良いか、福井の企業の魅力を、若手社員が発信するにはどうしたら良いか、といったことを研究しました。

ここ数年、福井の企業では、思うように人材を採用できずに困っています。

いろいろな原因がありますが、今年の研究会では、学生が会社に入った後に、確実に成長できるプランを考えると、いった取組みを、企業の皆様にアピールしました。特に、「企業が学生を選ぶ時代から、学生が企業を選ぶ時代へ」という時代の流れを共通認識に、企業が採用の考え方を転換して、下記の5つの改革に取り組むように勧めています。

- 1、これまでの人事制度(一括採用、終身雇用、年功序列、定年退職という流れ)を変える
- 2、若者は真面目で不器用という前提に立つ
- 3、成長したい若者に対する支援をする
- 4、会社の素顔を伝える
- 5、福井の魅力を自信を持って伝える

この研究会は、次年度も継続する予定です。

(福井大学 地域創生教育研究センター 特命教授 吉田史朗先生より寄稿いただきました)



研究会の様子

編集後記

2月も下旬に差し掛かってきましたが、昨年の豪雪とは打って変わり「雪の無い穏やかな冬」となっています。昨年、数年分の除雪作業をしましたが、今年は一休みとなりそうです。

今月27日には「ふくい地域創生士認定式」と初の「ふくい地域創生アワード表彰式」が開催されます。どちらもこれまでの学生の努力が報われるイベントです。COC+事業に関わる一人として、学生の笑顔を見ることが最高の喜び、最大のエネルギーになります。(田中)

